



幸せの種をまき、喜びをつくりだす

キラリ☆加美っ子

令和5年3月8日
加美小学校だより
発行 校長 梶並裕子



5年生HP ↑

6年生 ともだちの日にスピーチ・動画で下級生にメッセージ

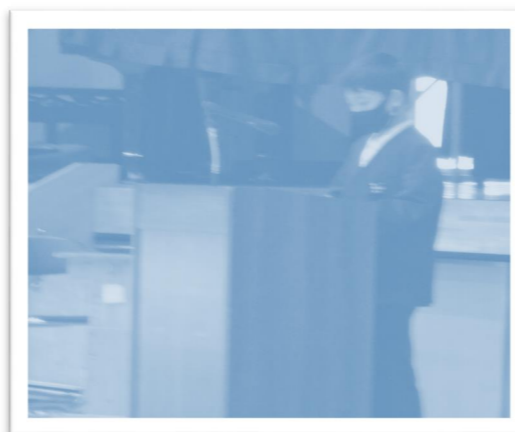
3月7日(火)

久しぶりの学校集会「ともだちの日」がありました。この中で、6年生が後輩へのメッセージをつたえてくれました。「無視・いじめはやめよう」「人権は大切に」「誤解をなくして」の3本のドラマ仕立ての動画は、6年生がシナリオを書き、演技しました。「明るい加美小学校に」「仲のよい加美小学校に」と自分たちの思いをこめて伝え、下学年の子どもたちも見入っていました。

また、池上洸紀君が「失敗から学ぶ大切さ」古城煌太郎君が「ひとりじゃできない、仲間がいるからできること」をみんなに伝えるためにスピーチをしてくださいました。二人は休み時間を使って原稿を書き、初めてのスピーチにも臆することなく堂々と訴えました。

このような6年生の姿は、きっと受け継がれていきます。

1年生も「6年生がしてくれたことで、ぼくもがんばるゆうきができたので、がんばります。」
「6年はすごいです。ぼくも6ねんせいのようなことをしたいです。」ととても心に残った集会になったようです。



6年生のスピーチ「失敗から学ぶ大切さ」



ドラマ動画で6年生からメッセージ

おめでとう5年生! 岡山県「学びたい賞」奨励賞受賞の快挙!!!

かねてより、みなさんにご報告してきた5年生の挑戦「美咲町PR大作戦」の実践を、今年度「おかやま学びたい賞」に応募しておりました。2月14日、県内の小中学校と岡山県庁をZoomで結び、フォーラムが開催されました。他校の児童からも「表現が素晴らしい。参考にしたいです。」と感想を言ってもらい、参加した中学生からも「表現がすごい」とほめていただきました。

最後に今年度の受賞作品が発表されましたが、小学校53点、中学校30点の応募の中で、5年生がみごと「奨励賞」に輝きました。最優秀賞1校、優秀賞2校、奨励賞は4校です。素晴らしい快挙です。1年間かけて地道に探求的学習を重ね先生に指導を仰ぎながら自分たちでたどり着いた学習の成果がこのように評価されたことは、これからの加美小学校全体のロールモデルとなりました。



ボランティアのみなさんへ 子どもたちから感謝をこめて



わたしたちのために本当にありがとうございます。
「ぼくたちからの 感謝の気持ち、届くといいなあ」

『ボランティアの方へ感謝の集い』

毎朝子どもたちと一緒に登校してくれる方、危ないところで立って見守ってくださる方、低学年下校を助けてくださる方、読み聞かせをしてくださる方、校内の掲示を楽しくして下さる方、図書の本にカバーをつけてくださる方、ふるさとクラブで子どもたちを指導して下さる方、授業で話をしてくださる方、たくさんの地域の皆様に支えられていることを感じ、子どもたちは心をこめてプレゼントをつくりお渡しました。

メッセージ付きメモ帳やお守りなど各学年で工夫をして丁寧に仕上げました。今年は児童の代表参加となりましたが、会の様子は、その後放送で全校に紹介されました。

地域の皆様、今年度も本当にありがとうございました。保護者の皆様、それぞれの地区でお会いになったときにどうぞ感謝の意をお伝えいただければ幸いです。

福武教育文化振興財団35周年記念講演で

3年生児童が舞台上で「対話型鑑賞」堂々と自分の考えを話しました

「福武教育文化振興財団と大原美術館とコラボして行われた3年生の「美術館へ行こうプロジェクト」は、「ハローミュージアム」と名称を変更し、来年度から県内の3~4年生を対象に行われることになりました。
(加美小の3年生が素敵だったからのようです)



このプロジェクトのお披露目と福武財団の35周年を記念して、TVでもご活躍の脳科学者、中野信子さんの講演会が行われました。700人以上が詰めかけるなか、担任の石川先生がプロジェクトを通した子どもたちの変化を発表し、3年生の参加募集で集まった5人が、舞台上で大原美術館の寺元さんと「対話型鑑賞」のぶっつけ本番の授業をしました。大人でも緊張する環境の中、堂々と自分の考えを発表した姿は、授業そのもので、会場が暖かい空気に包まれていました。